

■妹とは

妹とは、①ある人物の男の親、又は女の親から生まれた人間のうち、②女であり、③その人物より年下である者のことを言う。

妹とは相対的な存在であり、妹とはその人物に対しての概念である。そのため、その主体自身が妹である可能性がある。もっと言えば例えば人類が n 人存在するとした場合、妹の人数として取りうる最大の値は $n-1$ 人となる。

「その人物を妹である」と言う場合、「○○の妹」と言う必要がある、この「○○の」を省略し、独立して「妹」と称する場合があるが、これは「兄又は姉のいる女性の人物」という意味で使われるのが普通である。

漢字で妹は女に未と書く。

未だ「女」ではない、と言う意味だ

世間一般で「○○は女になった」と言う場合、意味として、

- 1、男であったものが性転換をし女になった。と言う場合と、
- 2、処女であったものが、処女でなくなった。という場合がある。

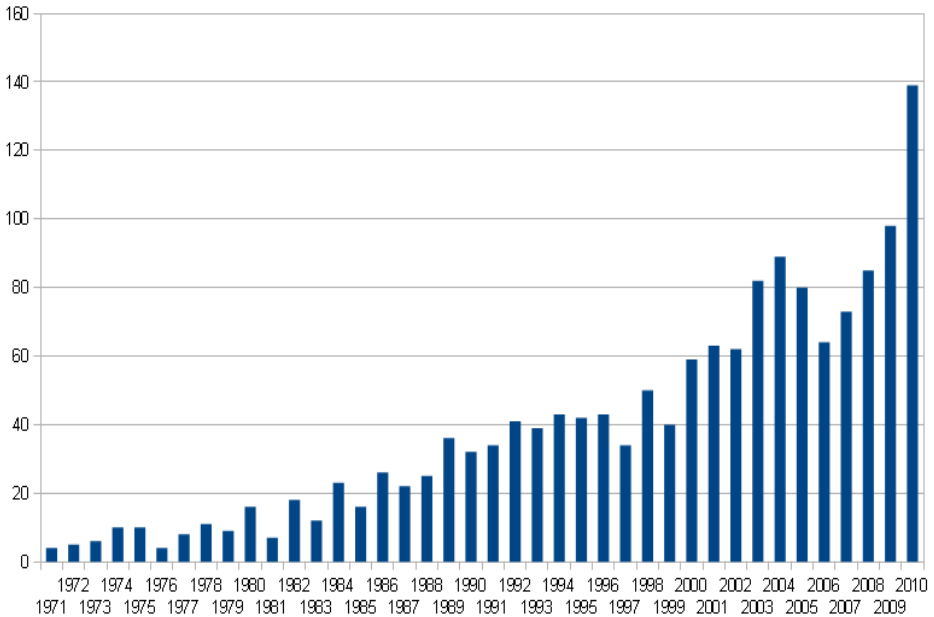
未だ女でないという意味が、未だ処女を失ってないという意味であるなら、妹には処女性が認められる。

世間で処女の価値の話をする際、「処女好きは童貞で気持ち悪い」などと言われ蔑まれる傾向にあるが、これは論点のすり替え以外の何者でもない。公正に判断すれば、処女は非処女より価値があるのは当然のことであって、議論の余地は無い。

以上により、妹は、非妹より高位な存在であることが分かる。

■妹の増加と減少

国会図書館のNDL-OPAC（国立国会図書館蔵書検索・申込システム）で検索した結果による、刊行年別に見た「本タイトルに「妹」という文字が入っているかどうか」の数は以下のようなになる。



グラフにしてみた。

これを見るとおり、「妹本」は増加傾向にあり、国民の妹への関心が高まっているのが分かる。仮に妹本を全て読む人がいたとしたら70年代は月1冊以下、80年代は月2冊程度読めばよかったものが、90年代では10日に一冊、2000年代には5日に一冊読めなければならなくなっている、さらに、2010年には3日に一冊読まなければならない計算だ。

この調子で増えていけば、いつれ、妹本を読む人は、妹本を読む時間を割くために仕事を辞めなければならなくなり、失業者が増えることは目に見えている。

妹本の爆発的増加問題の是正は早急の課題となっている。

■さまざまな妹

本書で取り上げる妹は、一緒にお風呂に入ることを前提としているので、以下の妹は特に取り上げない。

- ・容姿が可愛くない妹
- ・やや高齢な妹
- ・彼氏、夫がいる妹
- ・非処女である妹

さらに、作者の想定に反する以下のような者は、特に取り上げない。

- ・妹のような存在の女の子
- ・義理の妹など、血のつながらない妹
- ・兄がアンパンのような人外であった場合の妹（メロンパンなど）

また、以下のような妹は問題ないと考え、本書の対象とする妹として取り扱う

- ・兄のことが嫌いな妹
- ・兄以外に好きな男がいる妹
- ・「実はお前には妹がいるんだ」といったイベントで初めて会う妹

■風呂に入ることの意味

服を脱ぎ湯の中に入ることを「風呂に入る」と言い、この時に入る対象を風呂と言う。

風呂に入る際、一部の例外を除けば、全裸になるのが普通である。

風呂に入ることは、休息と肉体の洗浄である。清潔で衛生的な生活を望む場合、風呂に入る必要がある。

風呂の重要な意味はもう一つある。

公衆浴場では、男と女とで違う浴室を使う。しかし、家庭内の風呂では、男も女も同じ浴室を使い、しかも同時に使用する場合がある。男性の場合、現実世界で女性の肉体を見るまたは接触する機会が最も多いのがこの家庭

内の風呂である。風呂は、男性が女性の身体に接触する重要な機会の場だとも言える。

■妹と風呂に入ろう

妹と風呂に入るためには、妹のことをまず知らなければならない。自分をどう思っているのか。妹の肉体をどの程度触っても嫌がられないのか。妹は裸を見られることを嫌がるのか。それぞれのパラメータにあわせて臨機応変に挑んでいく必要がある。仮にあなたが妹に嫌われていたとしても、それが必ずしも一緒に風呂に入るのに支障をきたすとは限らない。裸を見られることや触られることを嫌がっていなければ、十分に風呂に入る余地はある。逆にお兄ちゃん大好きな妹であれば、一緒に風呂に入ってもいいと考えるのは危険である。裸を見られることを嫌がるタイプであれば、一緒に風呂に入れないどころか、それが原因で嫌われてしまう可能性もあるからだ。

妹のパラメータや家庭内の状況を総合的に判断した結果、あなたが「妹と風呂に入ることは不可能である」と判断せざるを得なかった場合、あなたの将来のためにも、無理をせずに諦めたほうが良いだろう。しかし、何もかも諦めるというのではない。諦めるべきは完全な形での妹との入浴だけであって、風呂に関連する「エッチなハプニング」的なものは諦めなくて良い。

ハプニングだけはあくまでハプニングなので、妹のパラメータや家庭内状況がどんなものであっても実行することが出来る。

ハプニングを作る方法を3つ

完全に風呂に入る方法を3つ紹介したい。■ハプニングを作ろう

ハプニングを作る方法その1

脱衣所の扉を開けたときに裸の妹がいるハプニング

手順

- 1、妹が風呂にはいる時間と、妹の服を脱ぐ速度を知っておく。
- 2、妹の風呂にはいる時間が近くなったら、気付かれないように妹の行動を監視する。
- 3、妹が風呂に入ることを目的として脱衣所に入るのを確認する。
- 4、妹の服を脱ぐ速度から算出された、絶好のタイミングで、脱衣所のドアを開ける。

解説

妹の服を脱ぐ速度が分からなかった場合、あらかじめ、妹の普段着ている服を借り、それを一度自分で着てみて、脱ぐのにどれくらい時間がかかるか実際にやってみると良い。

たいていの家庭では、風呂とトイレの場所は近い。トイレに行くフリをして脱衣所に妹が入るかどうか確認しよう。

時が満ちたら、一気に脱衣所の扉をあける、えっ？と振り返る妹

「ああごめんごめん、いやーまさかね、風呂に入ろうとしては思わなかったよ。まさかね。さっきもちょっと探したんだけど、あれ？あのさ、お兄ちゃんのメガネ知らない？メガネ。え？ああ昨日から掛ける事にしたんだよ。風呂場に置き忘れたかと思ってさあ。見なかった？え？入ってこないでって？いや入らないと……。いや、すぐに出てくから。え？そんな、誰がお前の裸なんか見るかよ。分かったよ、わかったわかった。じゃあ、メガネ探しといてくれよな」と言ってさりげなく去るのが望ましい。

ハプニングを作る方法その2

風呂に入っていたら突如全裸の妹が入ってくるハプニング

手順

- 1、妹が風呂に入る時間よりちょっと早めの時間に行動を開始するよう、心構えをしておく。
- 2、部屋で服を脱ぎ何も持たずに風呂に向かう。脱衣所に脱いだもの、着替え、タオルなどを残さない。
- 3、風呂場の電気を消す
- 4、風呂に入って、妹を待つ

解説

妹の失敗を誘う安全な策略。

なぜ電気を消していたか聞かれたら。「ちょっと電気を消して考え事を・・・」と、それらしいことを言っておくといい

ハプニングを作る方法その3

今日はおやじといっしょに風呂に入って男同士裸で語り合う予定だったのになぜ妹が？のハプニング

手順

- 1、妹が風呂に入ってる真っ最中のところに「おやじ、入るぞ」と言いながら浴室に突入。
- 2、「あれ、お前が入ってたのか」と言う。

解説

父親と息子が一緒に風呂に入るのは、当人同士は嫌でも、女性視点から見ると何故か正常に見えてしまうという性質がある。これを間違えて「母親と裸の語らいをしようとする息子」を演じてしまっは、別の意味で妹に

敬遠されてしまう。

脱衣所からは、浴室に誰かしら入っているのが分かるため、「誰もいないと思ったら、妹が入っていた！こりゃ失敬」と言う手は使えない。しかし、「誰が入ってるがわかんなくて、つい妹と父親を間違えた」と言う良い訳なら誰もが納得するだろう。

■完全な形で妹と風呂に入ろう！

妹と風呂に入る方法その1

妹が入っているときに強引に自分も入る

妹が風呂に入ったら、妹が髪の毛を洗っているタイミングを見計らって、急いで脱衣所に入り服を脱いで浴室に入り一気に浴槽に入るところまで完遂させよう。

髪を洗っているタイミングを狙う理由は、状況の認識と防衛行動を少しでも遅らせるため、その隙に湯船にまで入ってしまうという既成事実を作るためである。

勝負は一瞬ある。脱衣所に入った時点で防衛行動を取られてしまっは元も子もないし、浴室に入るためのドアをふさがれてしまっは、一生たっても妹の裸を生で拝むことは出来ない。妹が髪を洗って、目を開けられず、あれ？おかしいな？と思ってる際に湯船にまで入る必要がある。スピード勝負である。

やや、卑怯な手ではあるが、あらかじめ、服を脱いでおいてから脱衣所に入り一気に湯船まで突撃するという手もある。この方法なら、2～3秒で完遂でき、成功率が格段に高くなる。

湯船に入っしまえば、もう大丈夫。驚いてる妹に「あれ？入っったの？」と、さも気付かなかったフリをすれば、まさか兄が自分の身体目当てで入ってきたとは思うまい。

仮に拒否感を示したとしても、妹は髪を洗っている途中なので、逃げるた

めには、一度髪を念入りにすすいでから出なければならない。妹は髪をすすいでいるうちに慣れてきて、「まあ、きょうだいなんだし別にいいか」と思って、そのまま自然に入浴行為を続けるようになる。

妹と風呂に入る方法その2

わざと長風呂をして、妹も一緒に入らざるを得なくする

妹は毎日風呂に入るものである。さらに、見たいテレビがあれば、それによって風呂に入れる時間帯は限られてくる。これを大いに利用する。この日は妹の入浴可能時間を兎に角減らそう。見ていたテレビの論議を行うというのがこの場合、適切な行為かもしれない。妹に熱弁させるために、あえて妹と反対の意見を言おう。妹が減税派なら、増税派に。妹がほむほむ派なら、マミ派になって議論を白熱させ、時間を忘れさせるのだ。ここで効率よく時間をつぶすことが出来た場合、母親から「お兄ちゃんと一緒に風呂に入っちゃいなさい」という、絶好の一手がくる可能性があるが、簡単に喜んではいけない妹より早く「え～やだよ」と自分の口から言おう。母親の言葉に興奮して「お母さんがあんな事言ってるけど、どうする（ニヤニヤ）」なんて言ってしまったら、一生妹とは風呂に入れないと思ったほうが良い。

妹が風呂に入るそぶりを見せたら、先回りして妹より先に風呂に入ろう。そして、不自然ではない程度にできるだけ長風呂をする。運がよければここで妹が入ってくるはずだ。妹が待てど暮らせどなかなか入ってこない場合・・・、その場合は、今回は諦めて次の機会に期待しよう。一度で成功するとは思わないほうが良い。世の中とは、あなたにとって都合良く動いているわけではないのだ。

妹と風呂に入る方法その3

妹を含めた家族みんなで入るような提案をし。妹と触れ合う機会を作る。

妹と二人暮らしをしているお兄ちゃんには大変申し訳ないのだが、私はあらゆる妹風呂の中で、最もエロいのがこの家族風呂であると考えている。

普通の家庭の風呂で、家族全員入るのはやや難しいと思うが、完全に無理ではないと思う。むしろ狭い風呂であるほど、密着間が増し、身体が密着する機会が増えるのだ。

「家族全員で風呂に入るという行為は、普通の各家族ならどこでもやっているんだ。ドラえもん一家だってやってるはずだ」という雰囲気や3年間くらいかけて作っておこう。そして、年末や誕生日など、お祝い気分に乗じて、家族全員で風呂に入る流れを何とかして作ろう。

「もっとそっち行けよ、狭いだろ」と言いながら、妹にどんどん身体を密着させていこう。あくまで、自分は妹の身体に興味が無い風を装うのだ。股間がどうにかなってしまっても、泡を使って隠せば問題ない。やりすぎると、家族風呂の機会が永遠に失われてしまうので要注意。

あとがき

書店を何軒か巡ってみて、初めて気付いたことなのだが・・・

世の中に、恋愛やセックスの指南書はあふれているのに、なぜか妹と一緒に風呂に入る指南書がないことに気付いた。

何とかして、妹と一緒に風呂に入る方法を調べようとしたのだが、出版物はもちろんのこと、ネットでも私の疑問に対する答えを示してくれるものは無く、その時は結局諦めてしまった。

この経験が、私がこの本を書こうと思ったきっかけである。

妹と風呂に入りたいと思う全ての男性のために役に立つことが、少しでも出来たらうれしい。